

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-255244

(P2002-255244A)

(43) 公開日 平成14年9月11日 (2002.9.11)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-コ-ト*(参考)		
B 6 5 D	77/30	B 6 5 D	77/30	C	3 E 0 3 5
	65/30		65/30		3 E 0 6 4
	65/34		65/34		3 E 0 6 7
	85/36		85/36	A	3 E 0 8 6
	85/50		85/50	A	3 E 0 9 6
審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 8 頁) 最終頁に続く					

(21) 出願番号 特願2001-54197(P2001-54197)

(22) 出願日 平成13年2月28日 (2001.2.28)

(71) 出願人 595124284

株式会社大阪包装社

大阪府大阪市平野区西脇1丁目16番21号

(72) 発明者 橋本 康治

大阪市平野区西脇1丁目16番21号 株式会

社大阪包装社内

(74) 代理人 100103975

弁理士 山本 拓也

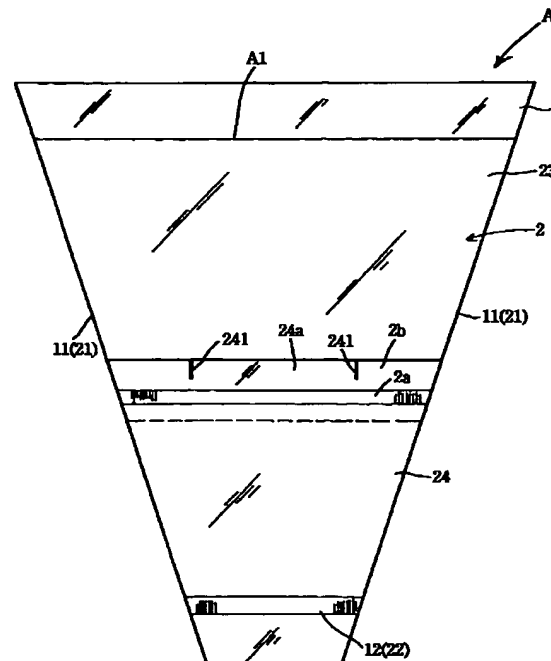
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サンドイッチ用包装袋

(57) 【要約】

【課題】 本発明は安定した状態で開封して内部に収納したサンドイッチを簡単に且つ確実に取り出して食することができるサンドイッチ用包装袋を提供する。

【解決手段】 本発明のサンドイッチ用包装袋Aは、表側フィルム1と裏側フィルム2とをそれらの上端縁を除いた対向端縁同士を融着させ、上記表裏フィルム1、2の対向面間に収納部3を形成してなるサンドイッチ用包装袋において、上記裏側フィルム2は、二枚の上下分割フィルム23、24の対向端部を互いに重ね合わせ、この重ね合わせ部分2bにおける内側の分割フィルムの端縁部とこれに対向する外側の分割フィルムとを融着接合してなり、上記重ね合わせ部分2bにおける外側の分割フィルムには、その端縁から上記接合部に向かって二個の切込部231、231が形成され、これら切込部231、231間における分割フィルム部分を摘み片23aに形成しているので、サンドイッチ用包装袋内のサンドイッチを食するに際し、サンドイッチを安定的に保持した状態でサンドイッチ用包装袋を開封しサンドイッチを円滑に且つ確実に取り出すことができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 表側フィルムと裏側フィルムとをそれらの上端縁を除いた対向端縁同士を融着させ、上記表裏フィルムの対向面間にサンドイッチを収納するための収納部を形成してなるサンドイッチ用包装袋において、上記裏側フィルムは、二枚の上下分割フィルムの対向端部を互いに重ね合わせ、この重ね合わせ部分における内側の分割フィルムの端縁部とこれに対向する外側の分割フィルムとを融着接合してなり、上記重ね合わせ部分における外側の分割フィルムには、その端縁から上記接合部に向かつて二個の切込部が形成され、これら切込部間における分割フィルム部分を摘み片に形成していることを特徴とするサンドイッチ用包装袋。

【請求項2】 下側分割フィルムの上端部を外側にして上下分割フィルムを融着接合して裏側フィルムを形成していることを特徴とする請求項1に記載のサンドイッチ用包装袋。

【請求項3】 切込部間の間隔をサンドイッチの幅に合致させていることを特徴とする請求項2に記載のサンドイッチ用包装袋。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、サンドイッチを包装するためのサンドイッチ用包装袋に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来からコンビニエンスストア等においてサンドイッチが多く販売されている。上記サンドイッチの包装袋としては、逆截頭三角形の表裏フィルムの対向傾斜端縁及び下端部同士を融着するとともに、この下端融着部よりも下方の表裏フィルムによって把持部を形成し、この把持部を構成する表側フィルム部分にその下端縁から下端融着部に向かつて二本の切込線を形成し、この切込線間における表側フィルム部分を摘み片に形成してなるものが提供されている。

【0003】そして、上記サンドイッチ用包装袋内に収納したサンドイッチを取り出すには、上記サンドイッチ用包装袋の把持部を構成する裏側フィルム部分を一方の手で把持してサンドイッチをぶら下げた状態とし、この状態を保持したまま把持部の摘み片を他方の手で摘み、この摘み片をサンドイッチに沿って引っ張ることにより表側フィルムを中央部分から分割してサンドイッチ用包装袋を開封する。

【0004】しかしながら、上記サンドイッチ用包装袋では、上述の如く、その開封作業を、把持部を把持してサンドイッチをぶら下げた非常に不安定な状態で行わなければならない安定的に開封作業を行うことができないといった問題点があった。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、安定した状態で開封して内部に収納したサンドイッチを簡単に且つ

確実に取り出して食することができるサンドイッチ用包装袋を提供する。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 請求項1に記載のサンドイッチ用包装袋は、表側フィルムと裏側フィルムとをそれらの上端縁を除いた対向端縁同士を融着させ、上記表裏フィルムの対向面間にサンドイッチを収納するための収納部を形成してなるサンドイッチ用包装袋において、上記裏側フィルムは、二枚の上下分割フィルムの対向端部を互いに重ね合わせ、この重ね合わせ部分における内側の分割フィルムの端縁部とこれに対向する外側の分割フィルムとを融着接合してなり、上記重ね合わせ部分における外側の分割フィルムには、その端縁から上記接合部に向かつて二本の切込部が形成され、これら切込部間における分割フィルム部分を摘み片に形成していることを特徴とする。

【0007】請求項2に記載のサンドイッチ用包装袋は、請求項1に記載のサンドイッチ用包装袋において、下側分割フィルムの上端部を外側にして上下分割フィルムを融着接合して裏側フィルムを形成していることを特徴とする。

【0008】請求項3に記載のサンドイッチ用包装袋は、請求項2に記載のサンドイッチ用包装袋において、切込部間の間隔をサンドイッチの幅に合致させていることを特徴とする。

## 【0009】

【作用】 本発明のサンドイッチ用包装袋の使用要領を説明する。まず、本発明のサンドイッチ用包装袋内にサンドイッチを収納するには、該サンドイッチ用包装袋の上端開口部からサンドイッチを収納した上で上端開口部を閉止すればよい。

【0010】このように、サンドイッチ用包装袋内にサンドイッチを収納すると、上下分割フィルムにおける互いに重なり合った重ね合わせ部分は、サンドイッチの底面の所定部分を全幅に亘って緊張状態で被覆した包装形態となる。

【0011】次に、上記サンドイッチ用包装袋内に収納したサンドイッチを取り出すには、先ず、サンドイッチを収納したサンドイッチ用包装袋をその摘み片を上側にした状態に一方の掌上に載置し、サンドイッチ用包装袋内に収納したサンドイッチを五本の指でつかんで安定的に保持する。

【0012】しかる後、摘み片を他方の手で摘む。この際、この摘み片を設けている上下分割フィルムの重ね合わせ部分は、上述したように、サンドイッチの底面の所定部分を全幅に亘って緊張した状態で被覆しているから、サンドイッチの角部から突設した把持部に摘み片を設けている従来の構造のように摘み片の摘み時に把持部が逃げる方向に妄動するといった不測の事態は発生せず、上記摘み片を簡単に且つ確実に摘むことができる。

そして、この摘み片をサンドイッチに沿って引っ張って裏側フィルムを分割することによりサンドイッチ包装袋を安定した状態に開封し、その内部に収納したサンドイッチを円滑に且つ確実に取り出して食することができる。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】本発明のサンドイッチ用包装袋の一例を図面を参照しつつ説明する。サンドイッチ用包装袋Aは、図1乃至図4に示したように、逆截頭三角形の透明な合成樹脂製表裏フィルム1、2を重ね合わせ、その広幅側の上端縁を除いた対向する左右傾斜端縁11、21及び幅狭い下端部12、22同士を熱融着することにより形成され、上記表裏フィルム1、2の対向面間にサンドイッチを収納するための収納部3が形成されているとともに、上記表裏フィルム1、2の対向上端面間にはサンドイッチ収納口A1が形成されている。

【0014】上記表側フィルム1は一枚の合成樹脂製フィルムから形成されている一方、上記裏側フィルム2は、二枚の合成樹脂製の上下分割フィルム23、24から形成されており、具体的には、上記上側分割フィルム23は、上記表側フィルム1の上半部の形状と略同一形状で且つ略同一大きさを有する逆台形状に形成されているとともに、上記下側分割フィルム24は、上記表側フィルム2の下半部の形状と同一形状で且つ同一大きさを有する逆台形状に形成されている。

【0015】そして、上記上下分割フィルム23、24は、上側分割フィルム23の下端部と下側分割フィルム24の上端部とを下側分割フィルム24の上端部を外側にした状態に互いに重ね合わせられているとともに、上側分割フィルム23の下端縁部とこれに対向する下側分割フィルム24部分とが左右方向の全長に亘って一定の細幅をもって帯状に融着接合2aされて一体化されている。

【0016】更に、上記上下分割フィルム23、24の重ね合わせ部分2bにおける下側分割フィルム24部分、即ち、上記融着接合部2aよりも上方に突出し且つ上側分割フィルム23の下端部に対して剥離可能に遊離している下側分割フィルム24部分には、切込部として、下側分割フィルムの上端縁から上記融着接合部2aに向かって二本の平行な切込線241、241が形成されており、この切込線241、241間の下側分割フィルム24部分を摘み片24aに形成している。なお、上記切込線241、241は、その間隔が上記収納部3内に収納される後述するサンドイッチBの左右幅よりも狭い間隔となるように形成されている。

【0017】次に、上記サンドイッチ用包装袋Aの使用要領について説明する。先ず、上記サンドイッチ用包装袋A内にサンドイッチBを収納する要領について説明する。なお、上記サンドイッチBは、縦長長方形の一定厚みの食パンを厚み方向に重ね合わせるとともに食パン間の夫々に卵や野菜等の具を挟んであり、食パンの対角線に沿って二等分割することによって側面直角三角形

で且つ一定の左右幅を有する形態に形成されている。

【0018】上記サンドイッチ用包装袋A内にサンドイッチBを収納するには、上記サンドイッチ用包装袋Aのサンドイッチ収納口A1を全面的に開口させ、このサンドイッチ収納口A1を通じて収納部3内にサンドイッチBをその傾斜面B1（具が露出した面）が上記サンドイッチ用包装袋1の表側フィルム1側となり且つ上記切込線241、241がサンドイッチBの底面B2上に位置した状態に収納した上で上記サンドイッチ収納口A1を閉止する（図4参照）。

【0019】この時、上記サンドイッチ用包装袋Aにおける裏側フィルム2の上下分割フィルム23、24は、上側分割フィルム23の下端部を内側にした状態に接合一体化されていることから、上記サンドイッチ用包装袋Aの収納部3内にサンドイッチBを収納する際、上側分割フィルム23の下端部がサンドイッチBを収納部3の下方部に円滑に且つ確実に誘導し、よって、上記サンドイッチBは、上記サンドイッチ用包装袋Aにおける裏側フィルム2の下側分割フィルム24の上端部を捲り上げるといった不測の事態を発生させることなく収納部3内に円滑に且つ確実に収納される。

【0020】上記サンドイッチ用包装袋A内にサンドイッチBを収納した状態においては、上記サンドイッチ用包装袋Aにおける上下分割フィルム23、24の重ね合わせ部分2bが上記サンドイッチBの底面B2の上方部分を全幅に亘って被覆した包装状態となっており、更に、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片24aは、その全幅に亘って上記サンドイッチBの底面B2の上部上に位置した状態となっている。

【0021】しかして、上記サンドイッチ用包装袋A内に収納したサンドイッチBを食するには、先ず、上記サンドイッチBを収納したサンドイッチ用包装袋Aをその摘み片24aを上側にして一方の掌上に載置し、五本の指でサンドイッチBをつかんで安定的に保持する。

【0022】しかる後、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片24aを他方の手で捲り上げて摘み、該摘み片24aをサンドイッチBに沿って表裏フィルム1、2の下端部側に向かって引っ張る。なお、上記摘み片24aを形成している上下分割フィルム23、24の重ね合わせ部分2bは緊張状態となっているので、上記摘み片24aを簡単に且つ確実に摘むことができる。

【0023】すると、図5に示したように、上記サンドイッチ用包装袋Aにおける裏側フィルム2の下側分割フィルム24は、上記摘み片24aの左右幅をもって上記サンドイッチBの底面B2の左右端縁B21、B21に沿って引き裂かれて分割し、上記裏側フィルム2の下側分割フィルム24により被覆されていた上記サンドイッチBの底面B2が略全面的に露出した状態となる。

【0024】更に、上記サンドイッチBの底面B2の左右端部を被覆している残余の裏側フィルム2の下側分割フ

10

20

30

40

50

フィルム24部分を外方に向かって捲って上記サンドイッチBの底面B2の下半部を全面的に露出させた状態とする。そして、上記サンドイッチBを底面B2側から掴んでサンドイッチ用包装袋Aから取り出して円滑に且つ確実に食することができる。

【0025】この際、サンドイッチBの底面B2には具が露出していないことから、サンドイッチBをその底面B2側から掴んでサンドイッチ用包装袋Aから取り出すにあたり、手に具が付いて手が汚れるといった不測の事態は発生しない。

【0026】よって、上記サンドイッチ用包装袋Aによれば、その摘み片24aを摘んで引っ張るといった簡単な作業を行うだけでサンドイッチ用包装袋A内に収納したサンドイッチBの下半部を確実に露出させることができ、この露出したサンドイッチBを手を汚すことなく取り出して円滑に且つ確実に食することができる。

【0027】上記では、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片24aを形成する切込線241、241間の間隔を上記サンドイッチBの左右幅よりも狭くした場合を説明したが、図6に示したように、上記切込線241、241間の間隔を上記サンドイッチBの左右幅に合致させた間隔としてもよい。なお、上記切込線241、241間の間隔以外は図1乃至図5に示したサンドイッチ用包装袋Aと同様の構成であるので同一符号を付してその説明を省略する。

【0028】このサンドイッチ用包装袋Aの使用要領について説明する。まず、上記サンドイッチ用包装袋A内にサンドイッチBを収納するには、上記サンドイッチ用包装袋Aのサンドイッチ収納口A1を全面的に開口させ、このサンドイッチ収納口A1を通じて収納部3内にサンドイッチBをその傾斜面B1（具が露出した面）が上記サンドイッチ用包装袋1の表側フィルム1側となり且つサンドイッチBの底面B2の左右端縁B21、B21と切込線241、241とが合致した状態に収納した上で上記サンドイッチ収納口A1を閉止する。

【0029】しかして、上記サンドイッチ用包装袋A内に収納したサンドイッチBを食するには、まず、上記サンドイッチBを収納したサンドイッチ用包装袋Aをその摘み片24aを上側にして一方の掌上に載置し、五本の指でサンドイッチBをつかんで安定的に保持する。

【0030】しかる後、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片24aを他方の手で把持し、該摘み片24aをサンドイッチBに沿って表裏フィルム1、2の下端部側に向かって引っ張る。すると、図7に示したように、上記サンドイッチ用包装袋Aにおける裏側フィルム2の下側分割フィルム24は、上記サンドイッチBの底面B2の左右端縁B21、B21に沿って引き裂かれて分割し、上記裏側フィルム2の下側分割フィルム24により被覆されていた上記サンドイッチBの底面B2が全面的に露出した状態となる。

【0031】更に、図8に示したように、上記摘み片24

aを表側フィルム1側へ捲るとともにサンドイッチ収納口A1の方向に引っ張ると、上記サンドイッチ用包装袋Aの表側フィルム1が捲れて、サンドイッチBの傾斜面B1の下半部が露出した状態となる。

【0032】このように、上記サンドイッチ用包装袋Aによれば、サンドイッチBを一方の手で安定的に保持しながら、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片24aを引っ張るといった簡単な作業だけで、該サンドイッチ包装袋A内のサンドイッチBの下半部を全面的に露出させることができる。

【0033】上記サンドイッチ用包装袋Aでは、その上下分割フィルム23、24を下側分割フィルム24の上端部が上側分割フィルム23の下端部に対して外側となるように重ね合わせた場合を説明したが、図9及び図10に示したように、上下分割フィルム23、24を上側分割フィルム24の下端部が下側分割フィルム24の上端部に対して外側となるように重ね合わせてもよい。このように構成した場合には、下側分割フィルム24の上端縁部とこれに対向する上側分割フィルム23の下端部とを左右方向の全長に亘って一定の細幅をもって帯状に融着接合2aして一体化するとともに、上下分割フィルム23、24の重ね合わせ部分における上側分割フィルム23部分、即ち、上記融着接合部2aよりも下方に突出し且つ下側分割フィルム24の上端部に対して剥離可能に遊離している上側分割フィルム23部分にその端縁から融着接合部2aに向かって二本の切込線231、231を形成し、この切込線231、231間における上側分割フィルム23部分を摘み片23aに形成する。なお、上記切込線231、231間の間隔は、上記と同様に、サンドイッチ用包装袋A内に収納されるサンドイッチBの左右幅に合致し或いは狭い間隔となるように形成される。

【0034】そして、上記サンドイッチ用包装袋A内に収納したサンドイッチBを取り出して食するには、上記サンドイッチ用包装袋Aの摘み片23aを摘んでサンドイッチ収納口A1側に向かってサンドイッチBに沿って引っ張ることにより、上記裏側フィルム2の上側分割フィルム23を上記サンドイッチBの底面B2の端縁B21、B21に沿って引き裂いて分割し、上側分割フィルム23によって被覆されていたサンドイッチBの底面B2の上半部を露出させた後、上述と同様の要領でサンドイッチBを取り出せばよい。

【0035】又、上記では、上下分割フィルム24（23）に切込部として切込線241、241（231、231）を形成し、上記切込線241、241（231、231）間における上下分割フィルム24（23）部分を摘み片24a（23a）に形成した場合を説明したが、上記切込線241、241（231、231）の代わりに、図11及び図12に示したように、上下分割フィルム24（23）の端縁に切込部として平面三角形の切欠部242、242（232、232）を形成し、この切欠部242、242（232、232）間における上

下分割フィルム24(23)部分を摘み片24a'(23a')としてもよい。

#### 【0036】

【発明の効果】請求項1に記載のサンドイッチ用包装袋は、表側フィルムと裏側フィルムとをそれらの上端縁を除いた対向端縁同士を融着させ、上記表裏フィルムの対向面間にサンドイッチを収納するための収納部を形成してなるサンドイッチ用包装袋において、上記裏側フィルムは、二枚の上下分割フィルムの対向端部を互いに重ね合わせ、この重ね合わせ部分における内側の分割フィルムの端縁部とこれに対向する外側の分割フィルムとを融着接合してなり、上記重ね合わせ部分における外側の分割フィルムには、その端縁から上記接合部に向かって二個の切込部が形成され、これら切込部間における分割フィルム部分を摘み片に形成していることを特徴とするので、サンドイッチ用包装袋内に収納したサンドイッチを食するに際し、サンドイッチを安定的に保持した状態でサンドイッチ用包装袋を開封し、サンドイッチ用包装袋内からサンドイッチを円滑に且つ確実に取り出すことができる。

【0037】この際、上記摘み片を設けている上下分割フィルムの重ね合わせ部分は、サンドイッチの底面の所定部分を全幅に亘って緊張した状態で被覆しているから、サンドイッチの角部から突設した把持部に摘み片を設けている従来の構造のように摘み片の摘み時に把持部が逃げる方向に妄動するといった不測の事態は発生せず、上記摘み片を簡単に且つ確実に摘むことができる。

【0038】しかも、上記サンドイッチ用包装袋によれば、該サンドイッチ用包装袋内に収納したサンドイッチにおける具が露出していない面(底面)側から開封してサンドイッチを取り出すことができるので、サンドイッチをサンドイッチ用包装袋から取り出すに際してサンドイッチの具が手について手が汚れたりすることなく、衛生的にサンドイッチを取り出して食することができる。

【0039】請求項2に記載のサンドイッチ用包装袋は、請求項1に記載のサンドイッチ用包装袋において、下側分割フィルムの上端部を外側にして上下分割フィルムを融着接合して裏側フィルムを形成していることを特徴とするので、サンドイッチ用包装袋の収納部内にサンドイッチを収納するに際し、上側分割フィルムの下端部によってサンドイッチを収納部の下方部に円滑に且つ確実に誘導してサンドイッチを変形等させることなくサンドイッチ用包装袋の収納部内に円滑に且つ簡単に収納することができる。

【0040】請求項3に記載のサンドイッチ用包装袋は、請求項2に記載のサンドイッチ用包装袋において、切込部間の間隔をサンドイッチの幅に合致させていることを特徴とするので、摘み片をサンドイッチに沿って表裏フィルムの下端部側に向かって引っ張った後、更に、

摘み片を表側フィルム側に捲り表裏フィルムの上端部側に引っ張るといった簡単な作業だけでサンドイッチの下半部を全面的に露出させてサンドイッチを円滑に且つ確実に取り出して食することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のサンドイッチ用包装袋を示した正面図である。

【図2】図1のサンドイッチ用包装袋の縦断面図である。

10 【図3】図1のサンドイッチ用包装袋を示した斜視図である。

【図4】図1のサンドイッチ用包装袋の使用状態を示した斜視図である。

【図5】図1のサンドイッチ用包装袋の使用状態を示した斜視図である。

【図6】本発明の他のサンドイッチ用包装袋の使用状態を示した斜視図である。

【図7】図6の他のサンドイッチ用包装袋の使用状態を示した斜視図である。

20 【図8】図6のサンドイッチ用包装袋の使用状態を示した斜視図である。

【図9】本発明の他のサンドイッチ用包装袋を示した正面図である。

【図10】図9のサンドイッチ用包装袋を示した縦断面図である。

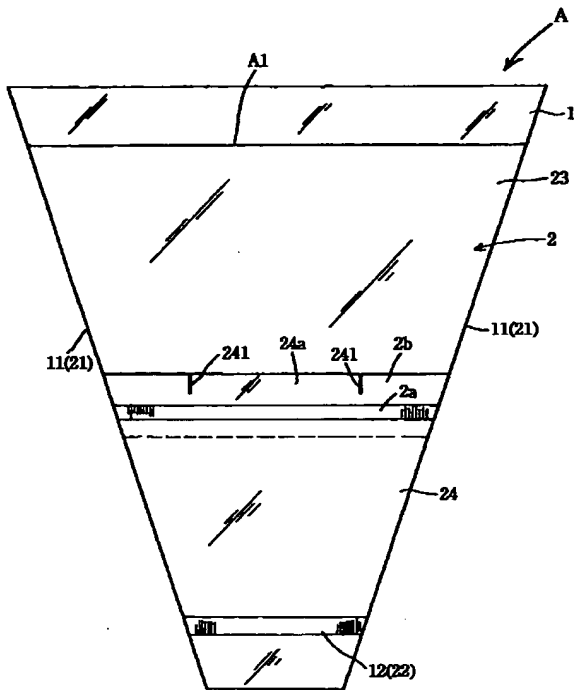
【図11】本発明の他のサンドイッチ用包装袋を示した正面図である。

【図12】本発明の他のサンドイッチ用包装袋を示した正面図である。

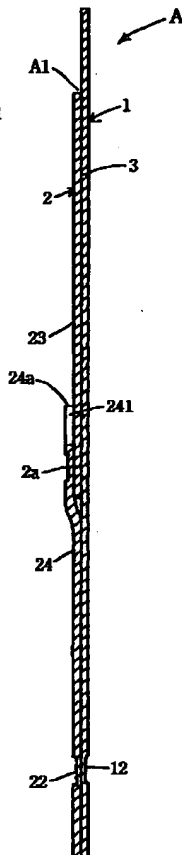
#### 【符号の説明】

- 1 表側フィルム
- 2 裏側フィルム
- 2a 融着接合部
- 2b 重ね合わせ部分
- 23 上側分割フィルム
- 231 切込線
- 232 切欠部
- 23a、23a' 摘み片
- 24 下側分割フィルム
- 40 241 切込線
- 242 切欠部
- 24a、24a' 摘み片
- 3 収納部
- A サンドイッチ用包装袋
- A1 サンドイッチ収納口
- B サンドイッチ
- B1 サンドイッチの傾斜面
- B2 サンドイッチの底面
- B21 サンドイッチの底面の端縁

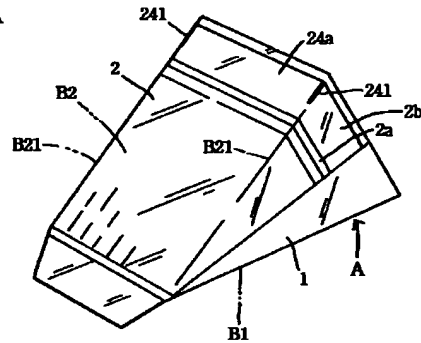
【図1】



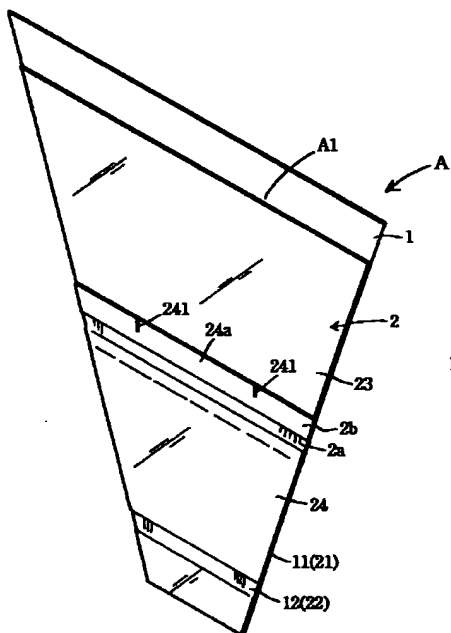
【図2】



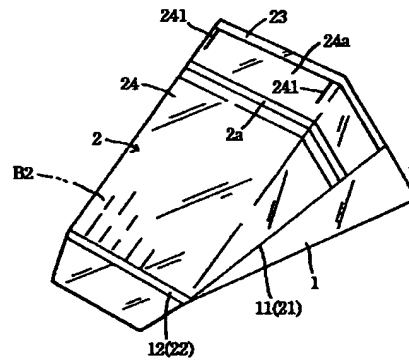
【図6】



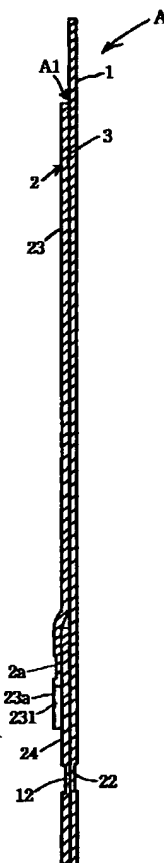
【図3】



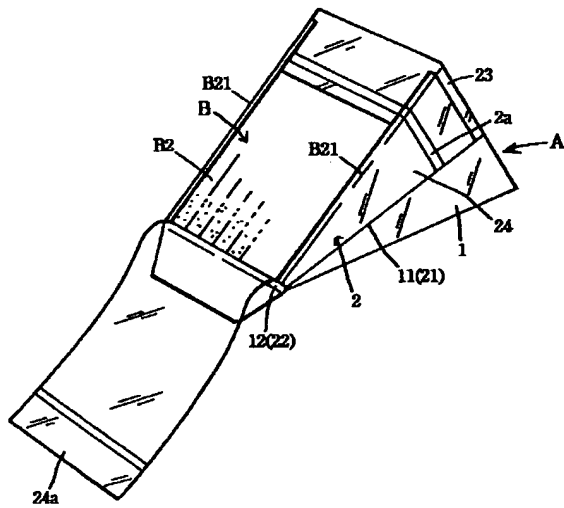
【図4】



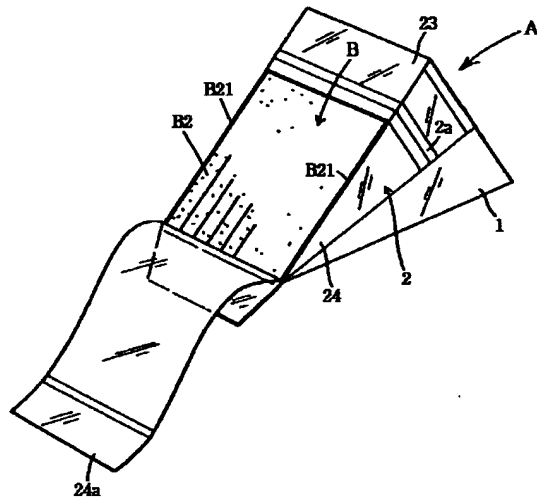
【図10】



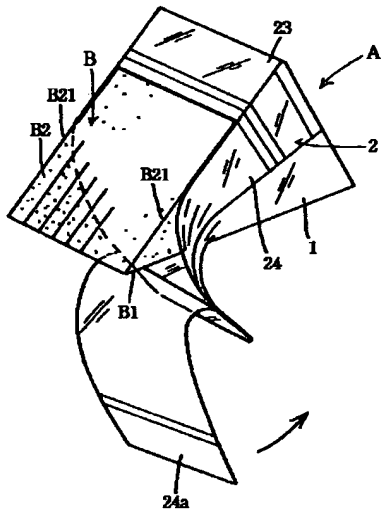
【図5】



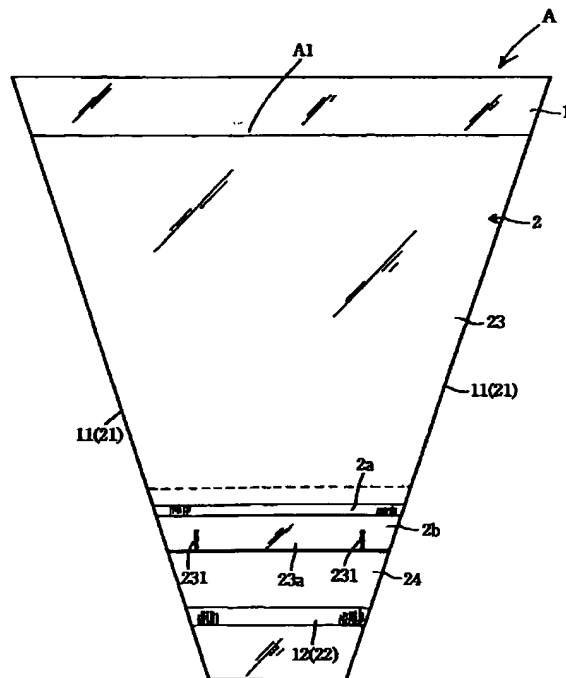
【図7】



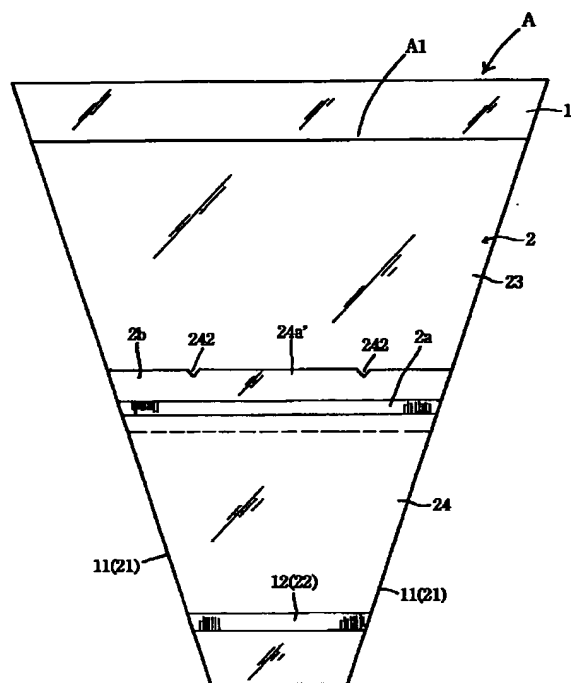
【図8】



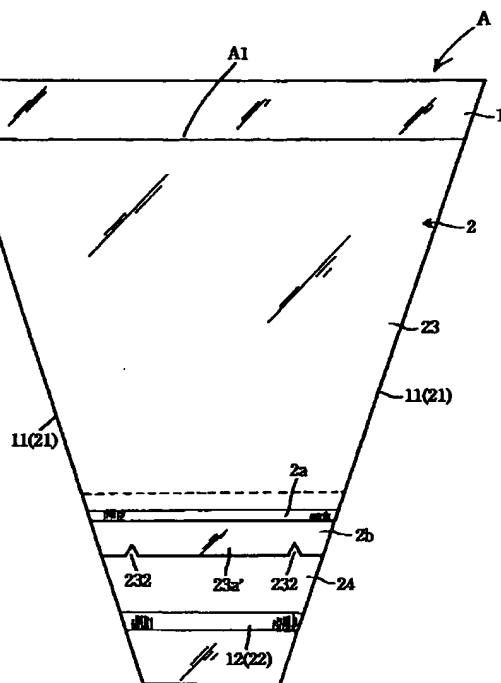
【図9】



【図11】



【図12】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テーマコード(参考)

// B 6 5 D 33/00

B 6 5 D 33/00

C

Fターム(参考) 3E035 AA20 BB08 BC01 BC02  
 3E064 AA05 BA22 EA12 FA01 GA04  
 HM03 HN05 HP01 HP04  
 3E067 AA12 AB01 AB99 AC01 BA12A  
 BB14A BC10A EA11 EB01  
 EB11 EE59 FA01 FC01  
 3E086 AA12 AB01 AC15 AD01 CA01  
 3E096 BA28 BB07 CA11 DA10 DC01  
 FA27 GA01

DERWENT-ACC-NO: 2002-702751

DERWENT-WEEK: 200276

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Sandwich bag used by e.g. convenience stores has pull piece that is provided to overlapping portion of vertical divide films of back side film

PATENT-ASSIGNEE: OSAKA HOSOSHA KK[OSAHN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0054197 (February 28, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC			
JP 2002255244 A	September 11, 2002	N/A	008
B65D 077/30			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	
APPL-DATE			
JP2002255244A	N/A	2001JP-0054197	February 28, 2001

INT-CL (IPC): B65D033/00, B65D065/30 , B65D065/34 , B65D077/30 , B65D085/36 , B65D085/50

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002255244A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A front side film (1) and a back side film (2) are fused at the opposing edges to form an accommodating portion. The back side film includes two sheets of vertical divide films (23,24) that form an overlapping portion

(2b) whose outer side serves as a pull piece (24a).

USE - Used by e.g. convenience stores.

ADVANTAGE - Enables sandwich to be easily removed from bag.  
Enables part of  
sandwich to be removed out of bag, while the rest of sandwich remains  
in bag to  
be held while sandwich is eaten, thereby enabling sandwich to be eaten  
hygienically.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure is the front elevation of the  
sandwich  
bag.

Front side film 1

Back side film 2

Overlapping portion 2b

Vertical divide film 23,24

Pull piece 24a

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/12

TITLE-TERMS: SANDWICH BAG CONVENIENT STORAGE PULL PIECE  
OVERLAP PORTION  
VERTICAL DIVIDE FILM BACK SIDE FILM

DERWENT-CLASS: Q32 Q34

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-554296